

## 平成 30 年度 第 1 回会津若松市子ども・子育て会議 議事録（概要）

日 時：平成 30 年 7 月 18 日（水） 午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分

場 所：生涯学習総合センター 多目的ホール

○ 委嘱状交付

1 開 会

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ

4 議 事

(1) 会津若松市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

発言者	質疑内容等
○会長	<p>それでは、暫時、当会議の議長を務めさせていただきます。委員の皆様には議事進行に御協力をお願い致します。</p> <p>早速本日の議事に入りたいと思います。お手元に本日の会議の次第がございます。まず（1）会津若松市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況についてを案件と致したいと思います。まずこの案件について、事務局より説明を求めたいと思います。</p>
●事務局	<p>（資料に基づき内容を説明）</p>
○会長	<p>今、事務局の方から説明がございましたが、皆様から御質問等ございましたら、この場で挙手をして頂きまして、御意見を頂ければと思いますが、いかがでしょうか？</p>
●事務局	<p>付け加えさせていただきます。本日配布した資料の中で、事前に御質問頂いた部分については、回答を配付させて頂きましたので、中身についての説明は省略致しますが、こちらを御覧頂ければと思います。</p>
○会長	<p>委員の皆様におかれましてはどうでしょうか。</p> <p>それでは、私の方から質問したいと思います。</p> <p>先ほど御説明頂きました「平成 29 年度進捗状況報告書」というのは、いつ出来上がったものなのでしょうか。</p>
●事務局	<p>最終的なとりまとめについては、6 月末にとりまとめを行いまして、皆さんに配付させて頂いたところであります。</p>
○会長	<p>わかりました。</p> <p>それと続きまして、先ほど、委員の皆様から出ました事前質問に対する回答の説明がございましたが、この回答については、各質問された委員には、個別に回答は送られているのでしょうか。</p>
●事務局	<p>回答については、本日のこの配付が初めてになります。</p>
○会長	<p>そうしますと、質問された委員の皆様につきましては、今日初めてこの回答を見るわけですね。そうしますと、回答に対する再質問を含めて、意見を出すのは中々難しいのではないかなと思います。</p>

<p>●事務局</p>	<p>会議の在り方としては、委員の皆様におかれましては、事前に情報を提供して頂いて、その情報に基づいて、委員の皆様がこの会議の場で、色々と質問をできるような環境設定というのが非常に重要なことだと思いますが、その辺は何か理由があったのでしょうか。</p> <p>質問を頂き、この回答をまとめたのが先週末であったということでございまして、事前に配布する時間的な余裕がなかったということでございますので、御指摘頂いた件につきましては、十分検討させて頂ければと思います。</p>
<p>○会長</p>	<p>改めて、私の方から質問なんですけども、実は私先ほど、回答書をパッと見ました。回答書に書かれている内容、場合によっては同じ内容もありますよね。そうしますと、このレベルの回答であれば、もっと早めに連絡があっただけではないかと思えます。</p> <p>回答書の中身もあまりにも抽象的な表現が多いです。ということになりますと、質問に対する回答として、体を成しているのかなというような気がします。</p> <p>そういうことからすると、もう少し事務局の方におかれましては、この会議に臨むにあたって、十分な情報提供をして頂きたいです。先ほどの副市長の話にも、情報提供に努めるという発言がございました。また、委員の皆様から出ている質問の中にも、情報提供が不十分であるという指摘や、それ以外も似たような表現がございました。そうなりますと、やはりこういう会議を進めるにあたって、しっかりと情報提供をして頂きたいです。厳しい言い方をすると、この場で終わって喜ぶのは事務局の皆さんだけであって、委員の皆様におかれましては、非常に不十分な形で終わるかと思えます。</p> <p>会長職も前の組織も含めて続けてやっておりますが、厳しい言い方をしますと雑だと思えます。もうちょっと適切な対応をして頂かないと、副市長の言葉にもありました通り、世代を担う子どもたちをこれからどうしていこうかという大事な会議の場であるわけですから、事務局におかれましては、ちゃんとしたしかるべき情報提供をして頂き、そういう状況の中で委員の皆様が、しっかりと議論できるような環境を作って頂かないと、形式的に終わっては困ると思えます。</p> <p>そういうことを含めまして、これからはしっかりと情報提供にも努めて頂きたいです。時間をかけたとは思えない回答の記載ですので、もうちょっとしっかりと対応して頂きたいと思えます。私の方からの要望でございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、私の方から不規則な発言でございましたが、これを踏まえまして、色々と御意見を出して頂ければと思います。</p>
<p>○委員</p>	<p>今後は「幼保連携型認定こども園」への移行を支援していくということですが、何を支援してくれるんですか。「幼保連携型」に移行するための財政支援をするということですか。</p>
<p>●事務局</p>	<p>こちらにつきましては施設整備に対しまして、財政的支援を行っていくという内容でございます。</p>
<p>○委員</p>	<p>積極的に認定こども園化を図るということではなくて、自ら手を挙げたところについて、今の国の基準の財政支援をしていくというような理解でよろしいですか。</p>
<p>●事務局</p>	<p>各施設におきまして、現在、「幼稚園型認定こども園」であるところが、今後「幼保連携型」に移行していくことに合わせ、施設整備を行う必要がある部分について、市として財政的支援を行うというような内容になります。</p>

○委員	<p>わかりました。</p> <p>それと需要と供給のバランスが取れているということだと思うんですが、実際に園で耳にするのは、兄弟姉妹の同時在園の希望が受け入れられなかったとか、そういったことを多々聞きます。認定こども園では同時在園ということが前提としてあったんですが、今、市の点数制度の中でどうしてもバラバラになり、親御さんが選択に迫られることがあるんですが、そういった調査については、市の方では行わないんですか。</p>
●事務局	<p>特に調査ということはないんですが、指摘がございましたように、どうしても希望される園の定員がある程度埋まっている場合には、全て希望通りではない状況はございます。そういう意味でも、今、認定こども園の中で、どんどん「幼保連携型」の方にシフトして頂いて、それだけ保育の枠という形で拡大している。少しでも希望の園に入れるようになってきています。そういう意味でも、市としては、施設整備を行う園に対して財政支援を行っていきたくですし、できるだけ保護者の要望が受け入れられるような施設体制を整えていきたいと考えています。</p>
○委員	<p>特段、3号認定については定数の問題が大きいので、今の事務局の話は理想論だと思いますが、実際の問題としては、同時在園の下の子は、結局下の方のランクに点数上はなるので受け入れられないということだと思います。</p> <p>ですから、特に3号認定については、同時在園の問題を今後どう考えていくのかという、需要と供給のバランスを含めて、もう少し精査して頂けるといいと思います。</p>
●事務局	<p>兄弟を同じ園に入れたいという保護者の御意見に対し、今も加点して点数に含めて考えておりますが、より良い施設の利用という形に努めていきたいと思っています。</p>
○委員	<p>子ども・子育て支援事業計画の進捗状況報告書を一通り見ますと、方向性のところで、「図っていく」とか「実施していく」とか、「取り組む」という文章ばかりで、今後に数値的な目標等々を入れるという考えはないのでしょうか。</p>
●事務局	<p>それぞれの事業の考え方があると思います。最初から目標値をもっているものもあれば、そうでない部分もあるので、中々数字を今後の方向性の全てに盛り込むのは難しいというのが実態です。</p> <p>ただ御指摘頂いたように、数値ではっきり出せるようなものがあって、目指す方向性が出せるものがあれば、検討していきたいと思っています。</p>
○委員	<p>実際、今後の方向性で考えるのであれば、数値目標等を出せるのであれば是非出して、それをもとに頑張っていくという形が方向性だと思いますので是非出して頂いて、来年度その数値を目標達成するための努力を考えて頂きたいと思っています。</p>
●事務局	<p>計画の中で数字を出しているものもございますので、よりはっきりと明示していきたいと思っておりますし、御指摘頂いた点については、十分に検討していきたいと思っております。</p>
○委員	<p>進捗状況報告書の中の「認定こども園の拡大」ということで、事前質問の中に「幼稚園型」と「幼保連携型」とでは、何が違うのか？ということが書かれています。それぞれの説明があり、運営側の違いだということ結論が出ていると認識しています。</p> <p>運営側の違いだけであって、それぞれの保育の質や目指すところは同じということでしょうか？</p>

●事務局	<p>こちらにつきましては、同じ目標に向かってやっているということでございます。目標としてやっていく部分、教育・保育という部分では同じなんです、最後に書いてありますように、本市の状況の中では、「幼稚園型」と「幼保連携型」の中では、枠として3号認定（0～2歳児）の受け入れが多いのが「幼保連携型」、どうしても「幼稚園型」の方は3～5歳児の受け入れが多いという違いはあります。</p>
○委員	<p>もう一点なんです、情報としまして、先ほども御指摘のあったように、方向性・点検・実績等々の表現にあまりにも曖昧なものが多く、事前質問の回答についても曖昧な表現が多いと思っています。ですので、やはり数値目標等を入れ、実績がどうだったのか、一定の効果というのはどの程度なのか、何か改善は見られたのか、そういった結果がよく見ることができるよう表現を少し工夫して頂きたいと思えます。</p>
●事務局	<p>御指摘頂いた通り、皆さんのわかるような色々な表現に努めていきたいと思えます。</p>
○委員	<p>期日が過ぎて質問したのにも関わらず、お答えが書いてあってすごいなと思っていたんですけども、お答えの意味が分からなかったので、再度、お伺いできればと思います。</p> <p>アンケートについて、こどもクラブについての0～5歳児までの親御さんに対する質問の中に、こどもクラブのことに対する質問があるんですが、これは既に19時までこどもクラブは預かっているし、土曜日も預かっているのでこの質問は削除するとありましたが、0～5歳児までの親御さんはこどもクラブのことをわからないので、削除しなくてもいいのではないですかという質問をしたんですけども、それに対する答えをお願いします。削除するのかもしれないのか、どちらなのでしょう。</p>
●事務局	<p>あくまでもニーズ調査で、どの程度の方が利用したいのかという地区的な問題もあったので、これを盛り込んでおいたのですが、現在は、全ての地区において設置も進んでおりますので、今回の調査では質問から削除したいというように考えています。</p>
○委員	<p>わかりました。</p> <p>先ほど、数値目標というのを今後の方向性のところに盛り込んではどうですかという話があったと思うんですけども、実際この数値目標が出ているものもありますが、需要と供給の差に大きくマイナスという結果が出ているところもあり、達成できていないところもあるということです、この数値目標が想定外だったということだと思んですけども、この数字に関しては、途中で修正することはできないのでしょうか。</p>
●事務局	<p>目標値についても5年間の計画なので、途中での変更というよりは、次期への計画の見直しの中で、より現状に合った数値で計画を作るといったような考え方をしております。</p>
○委員	<p>あくまでも、次の機会に、5年間分の数値を考えるということですね。あまりにもマイナスが多いと、目標もある意味があるのかと考えてしまいました。</p>
○委員	<p>29年度の実績の中で、母子健康手帳の交付が834件あるんですけども、これを数値的にどのように見ていったらよいのか。ただ9割の面接と書いてあり、すごい数字ではあるんですけども、100%訪問することはできないのかなと疑問を感じました。</p>

●事務局	母子手帳の交付数に対して、100%の保健指導という形なんですけど、市民の方の利便性ということで、健康増進課・各支所以外にも、市民センターで交付しています。市民センターの場合ですと、保健師がいませんので、その場合はどうしても事務職の方が交付するということになります。医療機関の方には健康増進課の方で交付を受けてくださいというPRはしているんですけど、近場のところで受け取りたいという方もいらっしゃるんで、100%というのは難しい現状であります。
○委員	それは把握できてるんですかね。誰に交付したか。把握できると思うんですけども、それは可能なんですか。
●事務局	交付した方で、アンケートで相談事項があったり心配事項があったりする方については、市民センターの方から直接連絡頂くこともありますし、私たちの方で気になるような方に連絡させて頂く形でやっております。
○委員	内容的には100%に近づいているという形で考えていいんですかね。
●事務局	アンケートの方は確認できますし、子育て世代包括支援センターも始まりましたので、そういうところで妊婦さんの詳細な情報なども把握できるようになりましたので、そういったところでの把握はしております。
○会長	他ございませんか。 なければ議事案件として、次もございまして、次の方に進めていきながら、また質問が出ましたら遡って発言頂ければと思いますので、そのような形で進めさせて頂いてよろしいでしょうか。

(2) 会津若松市子ども・子育て支援事業計画の策定について

発言者	質疑内容等
○会長	それでは、本日の会議の次第の議事の二番目でございます。議事の(2)会津若松市子ども・子育て支援事業計画の策定についてを案件と致したいと思います。まずはじめに、事務局より説明を求めたいと思います。
●事務局	(資料に基づき内容を説明)
○会長	ありがとうございました。 今事務局の方から説明がございましたが、皆様の方から何か御質問・御意見の方がございましたら、お願いします。
○委員	就学前の子ども(0歳児～5歳児)の全世帯を対象とする調査項目の中で、小学校就学後の放課後の過ごし方の中でこどもクラブに関する部分を削除ということでしたが、この削除の部分については、4～6年の部分についての内容を削除ということでもよろしいですか？34番の項目のみ残るようになるんですか？
●事務局	基本的には、こどもクラブのみに限定するような質問については削除します。例えば、「子どもがどこで過ごしていますか」ということだと、こどもクラブの部分については、どうしても小学校になってからでしか答えることのできないことだと思います。それは小学生の中のアンケートで項目を設けるのであって、その中で実際どういった場所で過ごしているのかというアンケートにしていきたいと思います。この中だと、小学生になった時にどう過ごさせたいのか、先程の事業の量的な見込みにも関係するので、そういった理由で削除していきたいと考えております。

○委員	<p>だからこそ、必要なのではないかと思ったんです。</p> <p>0～5歳のお子さんがある親御さんが、子どもが小学校に入ったらうちの子どうしようかなあ、どう過ごさせようかなと考えると思うので、こどもクラブにぜひ入れたいとか、習い事に行かせたいとか、幼稚園でやっているような学童保育で過ごさせたいと思うかを、0～5歳のお子さんがある親御さんも考えてもいいと思ったので、削除しなくてもよいのではないかと思ったんです。1～3年生までどのように過ごしたいか聞いたり、もし4～6年生までの過ごし方で部活動で過ごさせたいと考えたりするのであれば、その学年のこどもクラブは必要ないのではないかと考えることもできると思いました。ですので、是非削除せず、聞いてもよいと思ったんですが、いかがでしょうか。</p>
●事務局	<p>繰り返しの答えになってしまい申し訳ないのですが、具体的にどのような地域でどのような時間帯でということについては未定になっております。</p> <p>今、御指摘頂いた部分について、どういった場所でどういった事業が必要なのかということについては、引き続き調査が必要だという御意見を頂きましたので、その点は検討させて頂ければと思います。</p>
○委員	<p>事前質問への回答の欄では、こどもクラブ利用以外の放課後の過ごし方の把握について、検討したいと思いますとここには書いてありますが、先ほど削除するという発言でしたので、それも回答欄に書いて頂ければその点に関しても発言ができたので、そこまで記載頂ければとも思いました。</p> <p>是非、削除しない方で検討して頂ければと思います。</p>
○委員	<p>中学校2年生が対象の調査項目の中で、放課後や休みの日の過ごし方という項目がございますが、放課後の捉え方が心配で、中学生になるとほぼ部活をやっていると思われる。部活の終わりを放課後と捉えるのか、あるいは、授業終わりを放課後と捉えるのか、大きな差が出てくるというのが一点です。</p> <p>もう一点は、一つの大項目の中で、放課後と休みの日を一項目にしていますが、今、学校現場では、部活動について色々和在り方を考えているところで、土日については一日だけの部活を認めています。二日連続は認めませんと、各種学校進めているところなので、そういった部分を含めると、この部分の聞き方に関して、放課後と休みの日を分けて聞くほうが、生徒は答えやすいのかなという印象をもちました。</p>
●事務局	<p>そちらについては、より子どもたちがわかりやすく答えやすいような内容にしたいと思いますので、御意見を尊重したいと思います。</p>
○委員	<p>就学前の子ども（0歳児～5歳児）の全世帯を対象としたアンケートの中で、幼稚園・保育所利用の有無という項目がありますが、認定こども園はないんですか。こういう書き方は間違っていると思うんですが。</p>
●事務局	<p>こちらは修正していきたいと思います。</p>
○委員	<p>中学校2年生を対象としたアンケートの中で、過ごし方の満足度というのと居場所に望むサービスや機能というところがありますが、これはアンケートの中で細かく内容が出てきてるんですか。中学生で過ごし方の満足度というのはどういうことか考えてみたら・・・。</p> <p>居場所についても、どんな考えでこのアンケートに出てきたのかなと思いました。</p>

●事務局	<p>中学生について、こういったところで過ごしたいと考えているのか。例えばゲームセンターがいいとか映画館がいいとかという、娯楽という意味だけでなく、こういった場所でどのように過ごしたいと思うのか。また、それが施設として、本市に足りないものなのかといった内容も含めて聞いていきたいと考えています。難しく書きづらいところでもありますので、アンケートはアンケートでやっていきたいと思ひますし、職業体験的なことで、市役所に中高生が訪れる機会もありますので、そんな機会も取り上げて、できれば生の声を少しでも多く拾っていきたく思ひております。</p>
○委員	<p>私たちは小中学生もいないですし、中身のことも関わってないからわからないんですけども、今の中学生は部活やなんかで、忙しく時間がない子が多いですね。それで満足感といっても、ストレスのある子が多いのかなと思ひたんです。それで、内容に細かいことが書いてあればと思ひてお聞きしました。</p>
●事務局	<p>今の過ごし方・場所について満足しているのか実は不満なのか、ということも含めて聞いていきたいと考えています。</p>
○委員	<p>今回ニーズ調査を行って、その結果をもとに次の計画を策定するということですが、こちらは現在の事業計画を継続するのか、もしくは、改めて立て直すのか、どのような形になるのでしょうか。</p>
●事務局	<p>やり方については色々あると思ひます。現計画は継続してやっていき、新たにニーズに沿った内容を加えていくという方法もございますし、中身についてはこれからゆっくりと考えていきたいと思ひます。今の段階ではっきりと有無を決めるのではなくて、全体のニーズ把握をどうするか考え、子ども・子育て会議の場で御意見を頂いて計画にしていきたいと考えております。</p>
○委員	<p>今までの計画も見直しの対象ということで考えているということによろしいですか。</p>
●事務局	<p>その通りです。</p>
○委員	<p>中学校2年生を対象にしたアンケートの中で、放課後や休みの過ごし方ということについて、まだ内容はどうかわかりませんが、この項目の他に、「勉強したい場所はどこですか」という項目がほしいと思ひました。なぜなら、中学2年生という受験前で一番大事な時期だと思うんですね。その中で、テスト勉強の場所として考えている時に、自宅では中々勉強しないという状況があると思ひます。そこで今の子どもたちはどこで勉強するかというと、図書館等の施設を利用して勉強しているという声を聞きます。若松市で言えば、稽古堂の中の図書館などを利用していていると思ひます。施設の中でもどのくらいの定員なのか、どのような利用になってくるのか、それは把握はできていませんが、テスト期間になると入口にすごい人数の学生が並んでいる状態が時折あります。それはなぜ起こるのかと言えば、場所取りに並んでいるということだそうなんです。ということは場所がないのかなと思ひ受けられたので、もし場所が足りないのであれば、市の方で空いている施設ですとか、色々な所を提供して頂ければ、子どもたちにとってもありがたいことだと思ひるので、アンケートの項目の中に入れて頂ければと思ひます。</p>
●事務局	<p>居場所の中で、「学習する場所」という、ある程度限定した言い方になるかと思ひますが、どこで過ごしますかという問いの場所が、遊びなのか勉強なのか意見が分かれると思ひますので、今の御意見については聞き方を含めて、アンケートの方</p>

	<p>に集約させていただきます。</p>
○委員	<p>ニーズ調査は非常に大事なことだと思うんですけども、その中身の中で、今回の事業計画の中で色々と相談事業があると思うんですが、例えばこの相談事業の中で、ニーズ調査に生かせるものはないでしょうか。そういった分析的なことはされていますか。もしされていないのであれば、行うことで新たな可能性が見えてくるのではないかなと思うんですが、いかがでしょうか。</p>
●事務局	<p>まず、将来的にどのくらいの相談の件数があるのかを予測するのは難しいと思います。しかし、例えば自由記述の欄などから、相談したいことや場所など、計画の方の反映につなげやすいものもあると思います。前回の調査でも、自由記述の中で、調査項目に入れることができなかつた内容がかなりの数ありましたので、それは事業計画の中に反映させていきたいと思っています。どの程度分析できるか見せて頂ければと思います。</p>
○委員	<p>これまでにいろんな相談があったと思いますので、その具体的な中身など反映できるものもあると思いますので、是非よろしく願いいたします。</p>
○委員	<p>就学前の子ども全世帯・小学校5年生・中学校2年生が調査対象になっていますが、あえてこの学年を限定しているのでしょうか。 小学校は6年間あって、1・2年生と5・6年生では全然悩みなどは違うと思うので、低・高学年で内容を変えての調査もいいと考えますが、どのように選定してこのようになったのでしょうか。</p>
●事務局	<p>まず未就学児については、保育・教育施設の需要の部分の調査というのが大きい関係で、かなりの数を調査していきたいという意図があります。小学生・中学生については、ある意味サンプル的な調査ということで、学年を絞った形でアンケートを取っていきたいと考えており、小学校5年生・中学校2年生をサンプル的な意味合いで捉えたということになります。 御意見頂いた1・2年生と5・6年生で意見がかなり異なるということ踏まえ、低・高学年それぞれにアンケートを行うべきかどうかを含め、検討させて頂ければと思います。</p>
○会長	<p>他に意見はいかがでしょうか。 それでは私の方から意見を述べさせて頂ければと思います。本アンケートの項目の中で、ソーシャルメディアやインターネットなど、そうしたものに関する項目が見受けられないのですが、例えば、「性教育の充実」や「薬物乱用防止教育の充実」などについて、ソーシャルメディアは各地域、各教育の世代の中で、非常に問題を抱えている中において、せつかくこういうアンケートをされるのであれば、そうした内容についても把握をしていく機会があってもいいのではないかと思います。他の項目にソーシャルメディアやインターネット項目が入っていればわかるのですが、たとえ入っていないと、子どもたちの子育て支援事業、特に、色んなデータを見ていますと、小学生の高学年にソーシャルメディアにおける様々な犯罪の部分であったりとか、色んな問題を抱えているということがデータでも色々と出ているものですから、本市はせつかくスマートシティ構想を取られているので、こういった部分におけるアンケート項目も検討されたいかがですか。</p>
●事務局	<p>基本は今の計画を作る際のアンケート調査を基本としたものですから、おっしゃって頂いた項目は追加することについては検討したいと思います。</p>

○会長	<p>それでは続けての質問になるんですが、今の問題とも絡むんですけども、本日この場に出席されている委員の方々はそれぞれの専門の方たちが多いと思います。また、代表の立場で来られているわけですから、せっかくこういう有識者の方がおられる中においてですね、今回作られるこのアンケートの項目に対して、意見を言う場をこの会議とは別に設けることは検討頂けないでしょうか。</p>
●事務局	<p>前回のアンケート項目を作成するにあたり、国からの指針がありました。今年も国の方から示すという話はあるんですが、まだ示されていないという現状ですので、それを含めた上で、再度、会議の開催になるか、事前にお送りして御意見を頂くか、検討させて頂ければと思います。</p>
○会長	<p>是非お願いしたいと思います。と言いますのも、アンケートは非常に重要なんですね。こういった形で全体を把握する手段というのは、本市においては、子ども関係でいうと重要な内容を占めるのではないかと思うと、国の指針よりも、地方は地方での在り方ということも考えますと、こういったことを通じて、ある程度網羅的なアンケート項目を作られて、より多くのニーズを把握するというのを是非検討させて頂ければと思います。</p>
○委員	<p>個別の進捗状況報告についてはいいと思うんですが、トータル的に、若松市はこうした子育て支援をしながら、子どもが増えてきているのかどうかというのが大きな問題になってくると思うんですが、それについてはどこも触れてないので、それはいかがなんでしょうか。</p>
●事務局	<p>各年度毎の各事業がどのように実施したかということを中心にこの資料をまとめておりますので、トータル的なまとめをしていません。そういった見方は非常に難しいと思います。どちらかというと計画自体のまとめ方の評価というような形になると思います。</p> <p>今、御意見を頂きましたので、そういったことが可能なかどうかは、各年度毎のまとめを出せるのか検討させて頂ければと思います。</p>
○委員	<p>こういう計画の前の段階の中では、出生数はどのくらい増やすとか、そういう数値もあったような気がしたので、我々がやっている効果がどこに出てくるのかというのはやはり必要なので、是非考えて頂きたいと思います。</p>
○委員	<p>二点ほどあります。</p> <p>まず、一点目なのですが、就学前のお子さんを対象としたアンケートについて、若松市ではこういった支援事業に長けて、たくさんの方があって、まだまだニーズを検討して実施していこうとしているところですが、ただそれが保護者の方に伝わっているのだろうかというところで、アンケートの項目に、若松市で子育てをしてよかったと思っているのかどうかという意識も項目に取り入れるといいのではないかと思います。本当に皆さんが居心地よく思っているのかを把握し、やっていることが無駄になっていないか。他に良い方法があるのではないかと気づくきっかけにもなるので、是非項目に入れて頂ければと思います。</p> <p>二点目に、市の方では私立の保育士の労働条件は把握しないというように認識していますが、保育士というのは子どもにとって大事な存在だと思っています。忙しい先生ですと、子どもに対して丁寧に扱えなくなったり、先生の方が心が充実していないと、良い保育が難しくなるのかなと思っています。先生たちの労働も市の方で把握して行って、改善をして頂けると、一保護者として安心します。市の現状としては関与しておらず、各施設でお任せしている表現に見えるんですが、今後把握する予定はないということなんでしょうか。</p>

●事務局	<p>基本的には、それぞれの施設において、それぞれの基準でもって就労されており、過度な労働というところも、保育士が不足しているところから忙しいという現状を聞いてはおりますので、それに対して保育の補助を入れるなどの対策を取られています。基本的には、それぞれの法人・園の方で、経営・管理されているので、そちらの方まで市の方で関与するという事はないんですが、それぞれ法に則って適切になされていると思っております。</p> <p>保護者から見れば、保育士の方々の状況というのは非常に重要と思いますので、本当に保育士の皆さんが疲れていて子どもに十分目が届かなくなると、それは良い保育につながらないと思いますので、その辺は適切に行っていると考えております。</p> <p>また、監査という形で、県の監査・市の監査という部分で、施設の状況については監査の対象にもなっておりますので、改善が必要となれば改善を求める結果になっています。</p>
○会長	<p>他の委員の皆様いかがでしょうか。</p> <p>本日初めて御参加頂いた委員の皆様もいらっしゃると思いますので、質問の中身については個別に事務局の方で御対応頂けるという理解でよろしいでしょうか。</p>
●事務局	はい。
○会長	<p>ですので、御質問等ございましたら、こども保育課にお問い合わせ願えればと思います。</p> <p>なければ、次に進めてもよろしいでしょうか。</p> <p>今私の方からお話しさせて頂きました、各委員におきましては、本日の案件のことなどについてお尋ね頂いて、情報収集に努めて頂ければと思います。</p> <p>それでは、議事の（3）その他に入りたいと思います。</p> <p>その他の方ですが、事務局の方から何かございますでしょうか。</p>
●事務局	特に今回は、その他はございません。
○会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様の方からは、何か御質問等ございませんでしょうか。</p> <p>本日の議事案件と致しましてはすべて終了致しましたので、これで本日の議事を終了致したいと思っております。本日は会議の円滑な運営に御協力頂きまして、ありがとうございました。</p> <p>以上を持ちまして、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。</p>

5 その他

6 閉 会